

メッセージボード

アウルの玄関前の壁面に設置されているメッセージボード。本紙「ふくろうの家だより」やイベント告知のチラシ、高齢者に関する情報などを貼り出しています。立ち止まってじっくり読んでくださる方も多く、5月の「いきいきサロン」コンサート

では、来場者の3分の1近くがメッセージボードの告知を見て来られた方でした。

ご近所の一員としての暮らしを重視し、あえて看板を出していないアウルにとって、メッセージボードは地域に向けた自己紹介の窓。ほぼ毎月更新する情報発信を



通して、地域とのつながりをゆっくり築いていきたいと願っています。

スタッフ リレーエッセー

目指す介護

介護士 磯 由美

家族に病院・施設の関係者が多かったせいか、この世界に興味を持ち、将来は介護職に就きたいという思いもあって、この世界に入りました。

そこでよく耳にし、目にしたのが、“スロー介護”でした。ゆっくり歩く・ゆっくり動く・ゆっくり

話す、相手に合わせる……簡単そうに思えましたが、実行してみると、自分自身の中に矛盾を感じることがあり、余裕ができていないのが現状でした。

しかし、介護職を続けていく上で、“スロー介護”はとても大切なこと。ご入居者様ととも



おいしいものをゆっくり食べ、一日一日を楽しく、いつも心に余裕を持って暮らしていきたいと思っています。

今日のらんこ

雨の日におでかけ

アウルコートのセラピー犬
キャバリアの「らんこ」です



入居相談 受付中

ご見学やご相談は随時受け付けています。
お気軽にお問い合わせください。

☎フリーダイヤル
0120-916-768

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

- 交通機関
- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 - じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

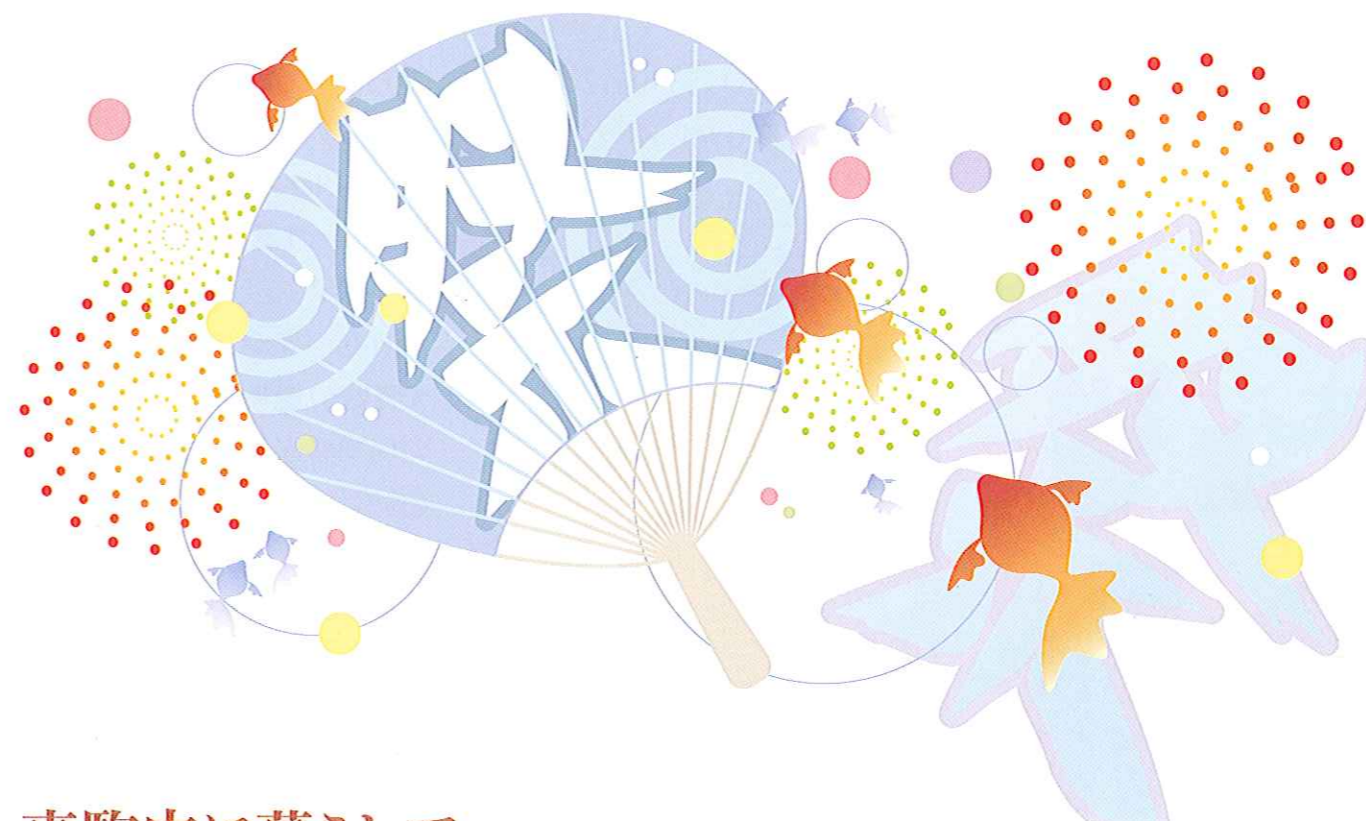
アウルコート真駒内 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家だより

その7
2008年7月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



真駒内に暮らして

ライフマザー(施設長) 武田 ひろみ

山々の緑の輝きが増してくるこの季節、アウルコート周辺の樹々もまた、一斉に萌えだした新緑の葉を揺らしています。植物の息吹と思えるような薫風の中に立っていると、自然から元気の素をいただいているようで、この緑豊かな街「真駒内」を私たちのホームの地に選んでよかったとつくづく思います。

1周年記念のコンサートを好評のうちに終え、今再び、開設当時の想いを噛み締めています。「暮らすことで元気になり、温かいもてなしの心があふれる家としてのホームを、ここに集う方々とともに創り上げていきたい」という思いからスタートしたアウルコート。その後、メッセージボードや季刊誌を通して、多くの方が「老いてからの暮らし方」に関心を持たれていることに気づきました。そして今、いきいきサロンの開催を心待ち

にされている方たちが、私たちのホームに足を運んでくださいます。また、定期的に開催しているホームの運営懇談会には、ご入居者様のご家族にも積極的に参加いただいています。私たちは、職員の思いだけではなく、アウルコートを取り巻く多くの方々から寄せられる声に耳を傾けながら、ここ真駒内での暮らしを創り上げていくことが大切だと思うのです。

緑が多い街＝人を元気にしてくれる街という印象を抱いて住み始めた真駒内。この地が原生林であったこと、「マコマナイ」と記されるようになってから200年もの歳月が流れていることを知りました(*)。真駒内の歴史を学び、そこに住む方々と交流する中、私たちの立場で街づくりにもまた参加していきたいと考えるこの頃です。

*谷代久恵氏著「真駒内物語」より

チェンバロとヴァイオリンの 素敵な音色に包まれて

地域との交流を目的に行っている「いきいきサロン」。昨年10月に初めて開催した第1弾企画のコンサートが好評だったことから、第2弾は「アウルコート真駒内」開設1周年を記念するクラシックコンサートを企画い

たしました。出演は「デュオ・プリエール」のお二人。ピアノとチェンバロの遠藤起代さんと、ヴァイオリンの北川詠妥透さんです。

5月8日(木)、約40名の観客が会場となったレストランに集



▲左から、北川詠妥透さん、遠藤起代さん

誰もが楽しめる音楽から もらった勇気と感動

当日わかったことですが、遠藤さんには障がいがあり、障がい者のレッスンに注力されているピアノ指導者でもありました。当日のサプライズとして、脳梗塞の後遺症のある生徒さんが客演。演奏を楽しむ姿から、勇気と感動をもらいました。「障がいの有無は演奏活動とは無関係なので、前面に出すことはしていないんです」と遠藤さん。サプライズを含む今回のプログ

ラムも、アウルという施設の性格に合わせて考えてくださったといいます。

「デュオ・プリエール」のコンサートは、高齢者も障がい者も誰もが音楽を楽しめ、さらに聴き手を楽しませることもできると教えてくれました。「音楽を通して多くの人が幸せな気持ちになってくれれば」と願う遠藤さんの想いは、来場された方々の心にしっかりと届いたようです。



▲障がいのある生徒さんがピアノ演奏を披露

まりました。開演は午後2時。フィギュアスケートで有名になった「トゥーランドット」や、大ヒットした「千の風になって」など、耳馴染みのある曲を中心とした演奏のほか、チェンバロという楽器の説明や、ヴァイオリンの弓で音が変わる弾き比べなども盛り込まれ、クラシック初心者も楽しめるプログラムと、生の楽器が放つ力強い音色に一同が魅了されました。



「いきいきサロン」第2弾企画はコンサート 音楽の素晴らしさを実感

アウルの畑、今年はレベルアップ!

大豊作となった昨年に引き続き、今年もアウルの畑で野菜づくりが始まりました。

今年、地域にお住まいの山地昭さんが農園長に着任。4年前まで農業をされていた経験をもとに、職員の指導や栽培の手ほどきをしていただいています。この秋には去年よりももっと大きくておいしい野菜の収穫が期待できそうです。



●4/22(火)

ご近所の公園でお花見

「今日はお花見日和ですね」。そんな世間話からその日お花見に行くことが急遽決定。希望者とスタッフでエドウィン・ダン記念公園へ行ってきました。アウルの中庭の桜もきれいに咲きました。



▲エドウィン・ダン記念公園



◀中庭の桜

●5/29(木)

運営懇談会で意見交換

手打ちそばの昼食後、第4回運営懇談会が行われました。入居者様とご家族、スタッフが参加するなか入居されたばかりの方から、毎日の介助に感謝のお言葉をいただき、職員一同感激しました。



アウルの昼食、味な歳時記

●母の日

5月11日(日)は、たけのこごはんで旬の味わい。



●YOSAKOIソーラン祭り

6月4日(水)は、お祭りムード満点の生ちらし寿司。



●父の日

6月15日(日)は、山の幸を楽しむ山菜おこわ。

